

日本建設技術(株)グループ研究発表会

リン回収技術など報告



発行所 株式会社 建設新聞社 〒849-0301 小城市牛津町乙柳1145-7 Tel. 0952-66-5750 (代) FAX 0952-66-5751 購読料 月額5,775円(税込) 社団法人日本専門新聞協会会員 ホームページ http://www.kensetsunews.co.jp e-mail アドレス kssaga@lime.ocn.ne.jp

●新聞発行日● 毎週 火・木・土曜

佐賀建設新聞社は頑張る 建設業を応援します!

原社長 「挑戦していく勇気が大切」



冒頭、原社長は「時代の変化に敏感な企業が生きていく。建設業や建設関連業の経営環境は依然として厳しいが、グループ会社で連携し、新しい技術や工法をいろいろな場面で提案したい。あらゆることに挑戦していく勇気が大切で、新しく設けたIT事業にも力を入れていく。時代のニーズを的確に感じとり、12年度も技術力を磨きたい」と挨拶。

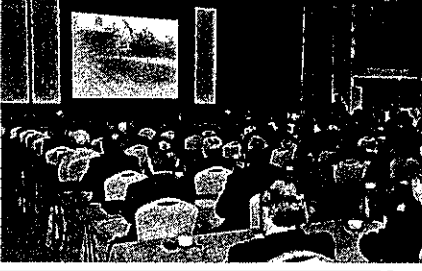
日本建設技術(株)（本社・唐津市北波多、原裕社長）グループは14日、唐津シーサイドホテルで2012年度研究成果発表会を開催した。関連5社から社員約170人が出席し、原社長をはじめ、企画開発戦略本部の3人がミラクルソル（発泡プラスチック）を用いた屋上緑化工法やリン回収技術、水質浄化などに関する活動実績を報告した。発表会は毎年開催しており、今回で9回目。

環境の開発に取り組んでいることを紹介。「多様化しているニーズに対応できるように技術開発を進める。ゼネコンや設計事務所に技術提案を行う」と話した。

続いて、同本部技術研究所水環境研究室の飯田拓史研究員が「粉末ゼオライトのリン回収技術への応用と水質浄化用ミラクルソルによる水質改善事例」と題して発表。佐賀大学低平地沿岸海域研究センター、櫛戸上電機製作所と共同研究グループを結成して、下水などのリン濃度が低い生活排水からリンを回収する技術の研究に取り組んでいる状況を説明し、同技術の実用化に向けて廃ガラスを利用した人工粉末ゼ

オライトの造粒化製造に成功したことや、佐賀市の農業集落排水処理施設で実証試験を実施していることを報告した。

また、水質浄化に関しては佐賀県立森林公園の「じゃぶじゃぶ池」での施工事例を紹介し、その中で「水の透視度や大腸菌数など、同池の水質は著しく改善され、ミラクルソルを設置した後は清掃、水換えの必要がなかった」と解説した。



▶研究成果発表会の様子